

## 市民協働のまちづくり！！

# 「岩船まちづくり協議会設立準備会」

## “まちづくり組織”の設立に向けて検討中です！

元気“い”まち 村上市



市民協働のまちづくり  
(パートナー)のロゴマーク

12月15日に発行しました「岩船まちづくり通信」でお知らせしましたが、「まちづくり組織」設立に向けての基礎となる部分を検討するために「岩船まちづくり協議会設立準備会」が設立されました。今回は、「岩船まちづくり協議会設立準備会」で検討された内容についてお知らせいたします。

## 第1回 設立準備会 (11月17日)

### ① 「市民協働のまちづくり」の概要説明

- ・各地区（村上・荒川・神林・朝日・山北）に「まちづくり組織」を設置し、「まちづくり組織」が中心となって進めていきます。
- ・村上地区は、村上・岩船・瀬波・山辺里・上海府地域ごとに一つの「まちづくり組織」を設置します。

### ② 「まちづくり組織」の役割

- ・「まちづくり組織」は、地域住民の意見などを聞きながら、地域の活性化（元気づくり）に繋がる取組みを考え、それを地域全体で協力し合いながら、進めていきます。

・地域の人口、町内および集落数などにより算出した「交付金」を毎年度（平成24年度～）交付します。交付金を活用した、活性化（元気づくり）事業に取り組んでいきます。

・「まちづくり組織」ごとに、市職員（自治振興課）を配置し、地域の一員として、またコーディネーターとして多方面からサポートします。

### ③ 「設立準備会」の役割

- ・「まちづくり組織」設立までのスケジュールの作成
- ・「まちづくり組織」の構成（案）の作成
- ・「地域まちづくり計画（案）」の作成
- ・「まちづくり組織」役員の選出
- ・その他「市民協働のまちづくり」において必要な事項の検討

「岩船まちづくり協議会設立準備会」メンバー（敬称略）

役職	氏名	町内	備考
会長	大越 孝行	下大町	
副会長	亀岡 利和	横新町	
監事	吉村 澄子	中新町	
委員	伴田 和良	岸見寺町	
委員	伴田 宏	上町	
委員	竹内 新一	上町	
オブザーバー	磯部 幸雄	下浜町	区長会長
オブザーバー	高橋 日出雄	八日市	区長会副会長
オブザーバー	東海林 静男	縦新町	岩船分館長
オブザーバー	工藤 壽一	八日市	岩船分館運営委員長

- ・生涯学習、福祉、防犯・防災は？
- ・元気がでるイベントを企画したいね。
- ・景観や環境も大事だね。



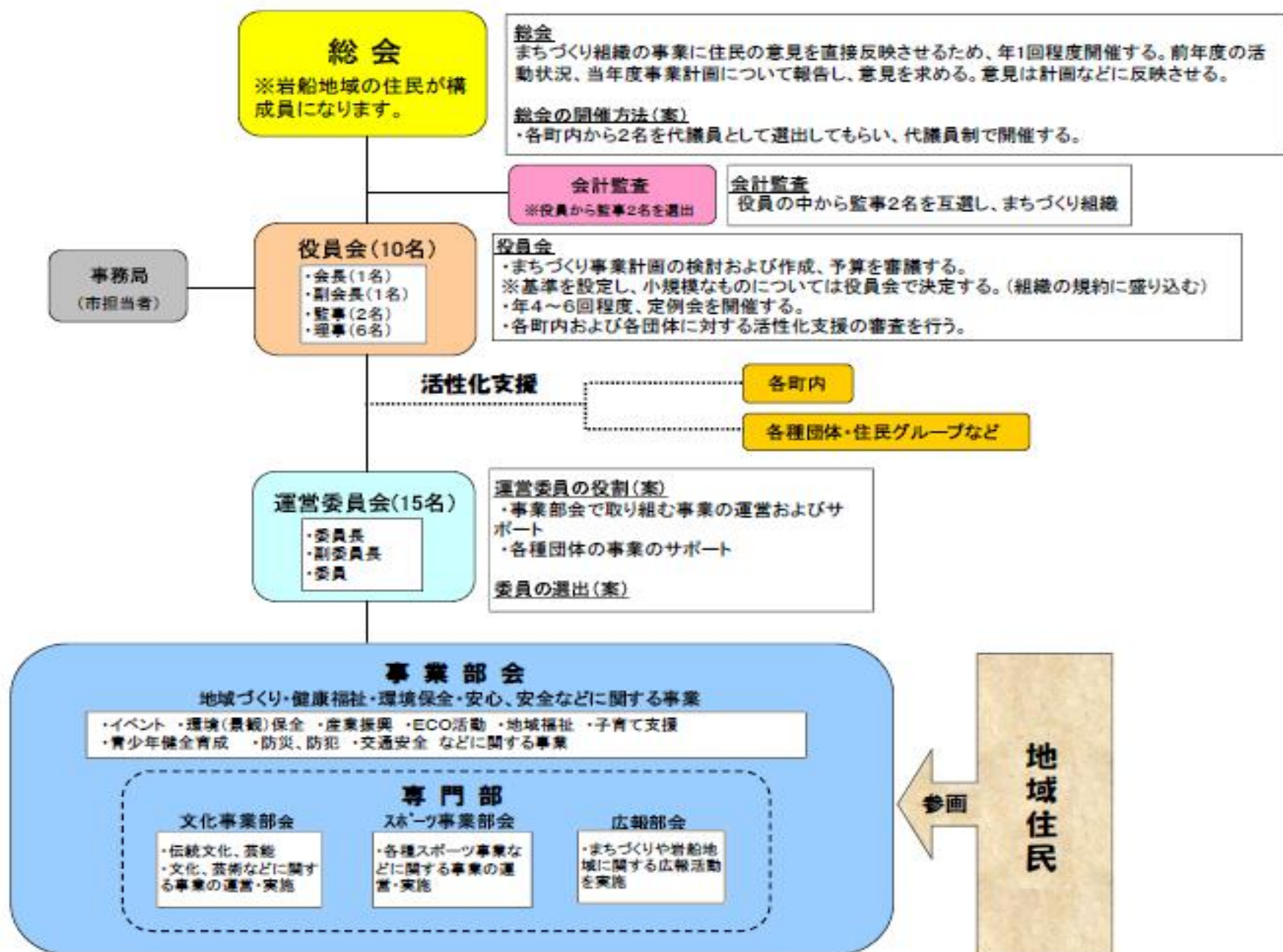
# 第2回 設立準備会 (12月6日)

## ① 「まちづくり組織」の構成 (案)

・「まちづくり組織」の構成 (案) について検討しました。(下記の組織イメージ参照。)

※岩船地域の「まちづくり組織」の名称を「**岩船まちづくり協議会(仮称)**」で検討しています。

### 岩船まちづくり協議会 組織イメージ(案)



※この組織構成は、現在、設立準備会で検討されている案です。決定された内容ではありませんのでご了承ください。

### 岩船分館 (公民館) 事業 一覧

## ② 「分館 (公民館) 事業」の継続に向けた取り組み方

・村上地区の4地域 (岩船・瀬波・山辺里・上海府) の分館 (公民館) については、今年度で廃止の方向で検討されていますので、「分館 (公民館) 事業」については、「村上地区公民館」と「市民協働のまちづくり」の中で整理し、継続していくこととなります。

岩船分館 (公民館) 事業を、「主催」ごとに分類 (右記の一覧参照) し、岩船分館 (公民館) が主催 (一覧の「分類」①) の事業については、「岩船まちづくり協議会」の事業として継続します。具体的な方法としては、「岩船まちづくり協議会」の中に、今までの「岩船分館運営委員会」と同様の組織を設置し、スムーズに事業の継続を図ることで検討しています。その他の事業 (一覧の「分類」②～⑧) は、主催する団体はそのまま継続しますので、今までと同様に事業を実施します。ただ、「岩船分館 (公民館)」と「岩船地区体育祭」が主催する「スポーツ事業」については、一本化を検討する必要があるとの意見が出され、再検討することになりました。

分類	事業名	主催	事務局
①	おまつ広場清掃	岩船分館	分館担当
	熟年層グラウンドゴルフ大会	岩船分館	分館担当
	熟年層ソフトボール大会	岩船分館	分館担当
	文化祭	岩船分館	分館担当
	岩船地区囲碁大会	岩船分館	分館担当
	小学生料理教室 (対象 岩小3年)	岩船分館	分館担当
	だんご木づくり	岩船分館	分館担当
	料理教室	岩船分館	分館担当
	芸能音楽祭	芸能音楽祭実行委員会	分館担当
	②	女性グラウンドゴルフ大会	岩船地区体育祭
壮年ソフトボール大会		岩船地区体育祭	分館担当
野球大会		岩船地区体育祭	分館担当
運動会		岩船地区体育祭	分館担当
バスケットボール大会		岩船地区体育祭	分館担当
③	岩船基句大会	岩船基句保存会	分館担当
④	ソフトボール連盟春季大会	岩船地区ソフトボール連盟	分館担当
	ソフトボール連盟秋季大会	岩船地区ソフトボール連盟	分館担当
⑤	第6回いわふねサミット	いわふねサミット実行委員会	分館担当
⑥	健少野外訓練	健民少年団岩船地区隊	分館担当
	健少お寺宿泊体験	健民少年団岩船地区隊	分館担当
	健少キャンプ宿泊研修	健民少年団岩船地区隊	分館担当
	健少体験学習	健民少年団岩船地区隊	分館担当
	健少歳末助け合い運動	健民少年団岩船地区隊	分館担当
	健少ロープワーク研修	健民少年団岩船地区隊	分館担当
	健少新潟タウン研修	健民少年団岩船地区隊	分館担当
⑦	健少入団式	健民少年団本団	村上地区公民館
	健少県交歓大会 (キャンプ)	健民少年団本団	村上地区公民館
	健少全国大会	健民少年団本団	村上地区公民館
	健少スキー・スノーボード研修	健民少年団本団	村上地区公民館
⑧	町内対抗バレーボール大会	岩船体育協議会	岩船体育協議会
	町内対抗駅伝大会	岩船体育協議会	岩船体育協議会
	冬期スポーツ教室	岩船体育協議会	岩船体育協議会
	サタディ・キッズ岩船	岩船体育協議会	岩船体育協議会

### ③「新規事業」の取り組み方

・岩船地域として、どのような分野の取り組みが必要なのかを検討するため、「アンケート調査」の実施や「住民検討会」「ワークショップ」などを開催して、住民の方から広く意見などを聞き、意見の集約を行います。その意見を基に「岩船まちづくり協議会」の役員会で色々な取り組みを検討し、住民のみなさんの協力を得ながら、実施していきます。

### ④「交付金」の使い方

#### 1 新規事業

・様々な分野において、「岩船まちづくり協議会」で企画した事業に係る経費を負担します。

#### 2 町内活動支援

・岩船地域の町内（16町内）の新規事業および既存事業の拡充に対して助成を行います。

※今後、助成の方法や内容を検討していきます。（交付規則などの作成）

#### 3 まちづくり活動支援

・各種団体や住民グループなどが行う、地域活性化事業に対して、「岩船まちづくり協議会」の趣旨にあった事業などに支援を行います。

※今後、支援の方法や内容を検討していきます。（交付規則などの作成）

#### 4 「岩船まちづくり協議会」の組織運営

・人件費、旅費、消耗品費、食料費、物品購入費など、組織の運営に必要な経費を負担します。

#### 5 基金積立

・長期的な事業計画を立て、大規模事業を実施するために、積立を行います。

## 第3回 設立準備会 (12月20日)

### ①「スポーツ事業」の取り組み方

・前回の設立準備会で再検討することになりました「岩船分館（公民館）」と「岩船地区体育祭」が主催する「スポーツ事業」については、一本化して「岩船まちづくり協議会」のスポーツ事業として継続することで調整することになりました。具体的な方策としては、「岩船まちづくり協議会」の「事業部会」の中に「スポーツ事業部会」を設置し、事業の運営を行っていきます。「スポーツ事業部会」の構成メンバーは、各町内から選出された「スポーツ担当委員」と「各種スポーツ関係団体」の代表者で構成します。また、「岩船まちづくり協議会 運営委員会」が運営のサポートをしていきます。また、「文化事業部会」および「広報部会」も設置することで検討しました。

### ②「岩船まちづくり協議会」規約（案）の検討

・「岩船まちづくり協議会」を運営していくために必要な規約の内容について検討しました。

#### 主な検討項目

（目的）→「地域の個性や課題に応じた活性化対策を、岩船地域に暮らす住民が知恵を出し合い、協力し合って、活気と魅力あふれる元気な地域の創造に資することを目的とする。」

（名称）→「岩船まちづくり協議会」

（事務所）→現在の「岩船分館（公民館）」に置きます。

（役員）→人数：10名（内訳：会長 1名、副会長 1名、理事 6名、監事 2名）

任期：2年（再任は妨げない）

（代議員）→構成：各町内から選出し、区長および区長から推薦を受けた住民で構成します。

人数：2名

（総会）→構成：各町内から選出された代議員で構成します。

開催：通常総会は年1回、臨時総会は協議会の会長が必要と認めたときなどに開催します。

（役員会）→開催：定例会および会長が必要と認めたときなどに開催します。

役割：(1) 総会にはかる内容の審議

(2) 事業計画、事業報告、予算及び決算に関することの審議

(3) 町内および団体支援の審査

(4) 小規模事業の専決処分

(5) その他、重要事項に関することの審議

（運営委員会）→人数：10～15名

役割：(1) 「岩船まちづくり協議会」で取り組む事業の運営およびサポート

(2) 事各種団体が行う事業のサポート

## 『地域まちづくり組織』設立に向けたスケジュール

7月

◆「まちづくり通信」を発行しました！  
「協働のまちづくり」の概要、「地域まちづくり組織」の設立までのスケジュールについてお知らせしました。

8月～9月

◆懇談会や説明会を開催しました！  
岩船の各種団体を対象に『市民協働のまちづくり』について知ってもらい、また、関心を深めてもらうために、懇談会や説明会を開催しました。

10月

◆準備組織づくりに入ります！  
準備組織とは、岩船地域のみなさんが中心となって、地域が元気になる取り組みを行えるような「まちづくり組織」をつくるために色々な準備をする組織になります。区長会から会長・副会長、岩船分館から館長・運営委員長、市の担当者で、準備組織の設立や構成メンバーについて協議しました。

11月

◆「まちづくり組織設立準備会」の開催  
区長会の会長・副会長、岩船分館の館長・運営委員長の4名が選考委員となり、「まちづくり組織設立準備会」の委員を選出し、17日(木)に一回目の「まちづくり組織設立準備会」を開催しました。

平成24年

12～1月

◆「準備会」で検討します。  
「まちづくり組織設立準備会」では、色々な取り組みを行えるように「まちづくり組織」の構成や規約などを検討し、地域の課題や将来あるべき地域の姿を思い浮かべながら、まちづくりについて様々なことを話し合っていきます。また、同時に事業計画や予算なども検討します。

平成24年

2～3月

◆まちづくり組織設立！  
いよいよ「まちづくり組織」の設立です。役員会を開催し、組織の規約や事業計画および予算などを具体的に協議し、また、今後のまちづくりの具体的な進め方などを協議します。総会を開催して、組織の構成や規約、事業計画や予算などについて承認を得ます。

平成24年4月以降～

◆地域まちづくり組織による活動開始！！

交付金を利用した地域活性化・元気づくり事業を実施していきます。  
岩船地域のみなさんが「住んでいて良かった」と思えるようなまちづくり、お互いに支えあうやさしいまちづくりを目指し、地域のみなさんと行政が協力し合いながら、慌てずゆっくりと進めていきましょう。

### 『協働のまちづくり』Q&A

Q 岩船分館が廃止になると聞きましたが、公民館や岩船連絡所はどうなるのか？

A 今年度で分館制度が廃止になり、村上地区の旧5地区(村上、岩船、瀬波、山辺里、上海府)の公民館機能が「村上地区公民館」として一本化することで検討していますので、現在の岩船分館は公民館ではなくなりますが、「まちづくり」の拠点として生まれ変わり、市の職員も配置されます。また、岩船連絡所の窓口業務も今までどおり行います。

Q 岩船分館が廃止になった場合、今までやってきた分館事業はどうなるのか？

A 来年度以降の分館(公民館)事業については、「村上地区公民館」と「市民協働のまちづくり」の中で整理し、継続していくことで検討しています。

Q 各種団体の活動などはどのようになるのか？

A 「市民協働のまちづくり」を始めるからといって、各種団体を一本化したり、統合したりすることはありません。岩船地域は、各種団体の活動が盛んな町ですので、今までどおり活動していただきたいと思えます。ただ、今後、まちづくりを進める上で、各種団体との連携や協力が不可欠になりますので、ご理解をお願いします。



お問い合わせ

村上市役所自治振興課村上地区自治振興係  
(岩船地域担当：渋谷)

TEL：0254-56-7071 (岩船分館内)

FAX：0254-56-6055

メール：naoto.shibuya@city.murakami.lg.jp